様式第１号（第３条関係）

（表面）

ひたちなか市教育委員会

|  |
| --- |
| 奨学生願書 |
| ふりがな | ※　男　・　女年　　月　　日生（満　　　歳） | 奨学資金の貸与希望期間 |
| 氏名 | 年　　　月から年　　　月まで年　　　月間 |
| 進学希望校又は在学校 | 高等専門学校　　　　　　　　　　　　　　　　科　第　　　学年専修学校　　　　　課程　　　　　学部　　　　科大学　　　　　　　学部　　　　　　　　　　　科 |
| 所在地 |
| 希望する奨学資金 | ※　奨学金　・　入学準備金 | 入学準備金の申請額 | 円 |
| 本人 | 住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　方）電話番号　　　　（　　　） |
| 家族住所 | ひたちなか市　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　方）電話番号　　　　（　　　） |
| 家族の状況 | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 職業 | 勤務先 | 年収（税込） | 父又は母死亡のときはその年月日（　　　歳） |
| 父 | 　 | 歳 | 　 | 　 | 円 |
| 母 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 就学者の在学校名 | 学年 | 通学方法 | 現在までの市奨学資金貸与の有無 |
| 本人 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 年 | ※自宅・自宅外 | ※有・無 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 自宅・自宅外 | 有・無 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 自宅・自宅外 | 有・無 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 自宅・自宅外 | 有・無 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 自宅・自宅外 | 有・無 |
| 合計（　　　人） | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ×申請番号 | 本市前奨学生 | 決定番号と学校名 | 貸与期間 | 借用証書提出年月 | × | ×決定番号　　　第　　号 |
| 　 | 年　月から年　月まで | 年　　月 |
| 学校 |

（裏面）

|  |  |
| --- | --- |
| 家族経済状況及び奨学資金貸与希望理由 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |
| 本人の履歴 | 年　　月　　　　　　中学校卒業 | 　　　　年　　月 |
| 年　　月 | 　　　　年　　月 |
| 年　　月 | 　　　　年　　月 |
| 以上のとおり記載に相違ありません。奨学生として採用の上，奨学資金の貸与をお願いします。なお，採用の上は，ひたちなか市奨学資金貸与条例の規定に従い，奨学生としての責務を果たすことはもとより，奨学資金の返還その他の義務についても，両名連帯の責任を負うことを誓約します。年　　月　　日本人　氏名（署名）連帯保証人　住所氏名（署名）続柄　本人の（　　　　　　　　）年　　　月　　　日生ひたちなか市教育委員会　殿 |

（記載上の注意）

１　※印の箇所は，該当するものを〇で囲み，×印の箇所は記入しないこと。

２　家族の状況のうち，続柄の前に，家計支持者には〇印を，別居者には×印を付けること。

３　家族経済状況及び奨学資金貸与希望理由は，具体的かつ詳細に記入すること。

４　本人の履歴は，休学，転学，退学，身分の異動等も理由を付して記入すること。

５　連帯保証人は，父母又はこれに代わる者（本人が未成年者であるときは，その法定代理人）で，市内に住所を有し，将来奨学資金返還の責任を負いうる者であること。

なお，出願の際は連帯保証人１人でよいが，奨学生として採用されたときは，更に別の保証人１人を要するので，あらかじめ考慮しておくこと。

６　所定欄に記入のないものは，判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。